

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学医学部附属病院

看護部

研究責任者： 伊瀬谷 美紀

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願い致します。

臨床研究名称 消化器外科術後患者の離床を阻害する因子の抽出と早期離床への課題

研究の目的

消化器外科の患者様に対して、術後合併症発症リスクの低下や入院期間の短縮のため早期離床が推奨されています。離床を妨げる要因として、患者様の離床に対する不安、全身状態や術後の疼痛等、様々な要因が先行研究で明らかになっています。しかし、当科において実際の離床状況や離床阻害因子を明確にしたことがありません。離床状況やその阻害因子の実態を把握することは、今後の術後管理や離床支援の在り方を検討する上で重要であると考えます。

当院の消化器外科術後患者様の離床状況を調査し、術後 1 日目に離床ができなかった患者様の阻害因子を分析します。さらにその結果をもとに、早期離床を促すための看護上の課題を明らかにすることを目的とします。

研究実施期間 実施許可日～2026 年 12 月 31 日

対象となる方 2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の期間に、当院入院棟東 2 階に入院し、消化器疾患で全身麻酔下の手術を受けた患者様のうち、術後 1 日目に離床できなかった患者様とします。

但し、食道癌やその他 ICU 滞在日数が延長する患者様は、侵襲性の高い治療を要し、術後 1 日目の介入が難しく、病棟における早期離床支援の評価対象として適切でないため除外します。

利用させていただきたい試料・情報について

医療情報システム Unicare の手術一覧表を用いて対象者を抽出します。看護システムの経過記録をもとに、術後 1 日目に離床できなかった患者数を集計します。術後 1 日目に離床できなかった患者様のカルテや看護記録から離床に関わる情報を収集します。離床できなかった阻害因子を調査し、分析します。

【収集内容】

年齢、性別、診断名、術式、既往歴、運動障害の有無、手術時間、出血量、貧血の指標 (Hb)、ドレーン数、離床前の鎮痛剤の使用の有無、酸素投与の有無、自覚症状として創痛・眩暈・ふらつき・疲労感・悪心・腹部膨満の有無、術後せん妄の有無

これらの情報の利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（匿名化）、行います。

外部への試料・情報の提供

調査結果は部署での看護に活用し、研究発表等で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	研究責任者：伊瀬谷美紀 電話：0172-39-5068（入院棟東2階） メール：miki0430@hirosaki-u.ac.jp
--------------	--